

5月12日～15日

臨時県議会で質問

コロナ感染防止協力金の対象拡大を



5月25日

弘前医師会(写真)・弘前体育協会との意見交換会を市議団と共に行う



新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの



《臨時県議会で質問》

- 保健所の体制強化
- PCR検査体制強化
- 新型コロナウイルス感染症医療体制強化
- 地域公共交通支援
- 青森県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金等について質す。

(詳しくは県議団だよりでお知らせします)



5月21日
農林水産員会で質問

コロナで消費落ち込んだ県産牛肉の活用をすべての学校給食で実現を

1食1人当たり100g年3回の購入費は全額国が負担するというもので、対象となるのは給食を実施している市立・県立・

仲良くを

引き裂くばかりの

コロナさん

(はるみのワクワク川柳)

国立426校の生徒・教員合わせて9万3665名。リフレットを作成し本県畜産業の理解や食育にも取り組むとのこと。1回目の調査では、約5割の5万人の希望。ぜひすべての学校で活用できるように周知の徹底を求めました。

新型コロナウイルスの影響踏まえた営農大学の学生への支援を

今年から始まった国の就学支援制度により低所得者世帯の学生には入校料及び授業料の1/3から全額を段階的に減免し、返還義務のない奨学金が給付される。成績要件があるが今年度はそれで受けられない学生はいない。もし対象外になった場合県の減免制度がある。コロナの影響による家計急変世帯に対しては就学支援制度の申し込みを随時受け、申請した月から措置できるようにする。との答弁がありました。



5月21日 農林水産員会で質問

※他に●新型コロナウイルスによる生乳の流通について●りんご園における降霜について質問しました。

5月22日 原発核燃さよなら金曜日 行動



ぼつとタイム

(弘前公園)



新緑の美しい季節となりました。先日封鎖が解除された弘前公園を散策してきました。桜もみじも美しい新緑となり鳥がさえずり何とも言えない心地よさでした。公園を散策できる喜びと同時に1か月ほど前の美しい満開の桜を観光客の方々と共に堪能できなかった悔しさを、新型コロナウイルスの怖さがこみ上げてきました。しかし、先日放映されたドローンで撮影した今年の桜満開の弘前公園は何とも言えないすばらしさでした。その動画をフェイスブックで紹介したところ89人のいいね!と18人の方からのコメントが寄せられました。全国の皆さんも弘前公園の桜のすばらしさを満喫して下さいようです。

しかし、公園封鎖による経済的損失は大きく、特にいつも出店していた露天商をはじめ地元の和菓子屋さんなど様々な小売業の皆さん、公園周りの駐車場の経営者、タクシー、代行車をはじめホテルや旅館等々への打撃は計り知れません。国では世論と論戦に押されて医療支援、家賃支援、雇用調整助成金の上限額引き上げなど一連の拡充策など前進させましたが、1人10万円の特別定額給付金を含め支援の届くスピードが遅いなどいまだに募りません。それらの問題を改善させ県・市を含めさらなる補償を求めていきます。アベノマスク・黒川前東京高検検事長の麻雀賭博に対する「訓告」という甘い処分。安倍政権に対する怒りは沸騰しています。検察庁法改定案を廃案に追い込んだ世論の力と野党結束の力で何としても安倍政権を退陣させ野党連合政権を誕生させましょう。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。 ■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。 5月の相談対応 7件

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http:// ando-harumi.com/

ホームページアクセス数5月 68,028件